

シルバーだより

新ひだか



2012
新年号
(No.57)



目名橋から日高山脈を望む

謹賀新年

業務係	業務係	事務局次長	事務局長	事務局職員	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副理事長	理事長	
中村美由紀	小関 雅美	石山るみ子	福地 伸		井原 毅	日向寺敏彦	外崎 信夫	小原 武志	石垣 榮治	伊木 和子	照井 鉄也	村仲 夕キ	塚田 昌克	北畑 幸枝	千葉 一夫	内山 雄	福地 伸	高瀬 彬	大澤 榮作



(社) 新ひだか町シルバー人材センター(広報部)

〒056-0005 新ひだか町静内こうせい町2丁目2番15号

Tel(0146)43-2800 Fax(0146)43-3688

E-mail:Shinhidaka-sc@chime.ocn.ne.jp

年頭のご挨拶

新ひだか町シルバー人材センター理事長 大澤 榮 作



新しい年が明けました。

会員の皆様にはご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

又、日頃より格別のご支援をいただいております行政の関係者、並びに発注者の皆様にも新年のお祝いを申し上げますと共に本年も変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願いを申し上げます次第でございます。

昨年を振り返りますと、3月に未曾有の東日本大震災が発生し、そのあと立て続けに日本各地で豪雨による大水害や台風災害により多くの尊い人命が失われ、わが国のみならず世界各地においてこのような災害に明け暮れた年でありました。

このような突発的な地殻変動や気象異常はこれを最後に未米永劫平穏無事であれとひたすら祈り願うものであります。

さて、長引く社会経済の低迷から当センターの事業実績は減少の一途を辿り最盛期の半分近くまで落ち込んでしまいました。

主な要因は不況による発注者側の節約と適正就業を見直した結果であることから理事会に於いて再三協議をしておりますが、事業実績の向上に繋がるような対策を打ち出せない状況にあります。

また、会員数についても多い時の100人近い減少となりましたがこの事は創立時60歳台で入会した会員が19年を経過して高齢化したことによる退会と、雇用年齢の延長などによる入会者の減少であり、さらに65歳に引き上げられた場合は厳しくなると思われますが、今後の就業機会の確保と会員増対策は極めて重要な課題であると考えられます。

次に昨年の通常総会に於いて承認された公益社団法人化については、本年4月1日を目途に申請中ではありますが、認定されますとシルバー人材センターの社会的地位向上とその役割が一段と求められ、さらに適正な就業についても厳しく見直さなければなりません。

今こそシルバーの基本である臨時的、短期的、軽易な就業を再認識し、合わせてシルバー人材センターの「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、親切、丁寧な仕事を行いながら安全就業に努めなければなりません。

本年も会員並びに役・職員の皆様のご協力を切にお願いする次第でございます。

結びにあたり会員・職員各位の健康と「安全が第一」「龍が天に舞う如き」一年となりますようご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

新ひだか町長 酒井 芳 秀



新年明けましておめでとうございます。皆さまには平成24年の希望に満ち溢れた輝かしい新春を迎えられ、心からお慶びを申し上げますとともに、日頃から町政執行に対しまして、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

国内におきましては、昨年3月に発生しました東日本大震災は大きな被害をもたらし、景気の低迷が続く中での大震災は、更なる危機の上乗せとなり、先行き不安が拭えない状況が続いているなど、国民生活に大きな不安を与えております。

町は、これまで財政の健全化に努め、その結果、徐々に明るい兆しが見えてきております。

「創造・創始・創立・独創」に関わります「創」の精神のもと、新しい文化や産業が躍動し、全ての町民が心豊かな暮らしを送ることができる「新ひだか町」を目指し、一層の努力を傾注する所存でございます。

少子高齢化が急速に進む社会において、働くことを通じて、高齢者の福祉の増進と地域の活性化に向け、その受け皿として新ひだか町シルバー人材センターに課せられる役割は大きなものがあります。

新ひだか町シルバー人材センター並びに会員皆様のますますのご発展とご健勝を心よりご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

第4回理事会開催

平成23年12月22日(木) 14時～

平成23年度第4回理事会が上記日程で開催され、事業実績や収支予算状況等の報告、協議事項として正会員の入退会と賛助会員の承認等について話し合われました。

シルバーの定期総会2回から1回へ

この理事会のその他事項として公益法人へ移行した後の「総会」の持ち方について福地事務局長より報告がありました。

これまでは、3月の予算案を中心にした総会と収支決算を主とした5月の総会と年2回開催されてきました。

当センターは、新年度の4月1日から公益社団法人としてスタートする予定で進めていますが、認定法の21条により緊急の審議事項がある場合を除いて3月の総会については省略することが出来ることとなります。

したがって、**5月中に開催する定時総会**に事業計画、収支予算書、事業報告及び決算等の書類を提出し、報告、承認を受けることとなります。

※ 認定法第21条

「公益認定を受けた日の属する事業年度にあつては、当該公益認定を受けた後遅滞なく、理事会に置いて事業計画、収支予算書を承認されればよい」

楽しかった互助会新年会

去る1月21日(土)午後、互助会主催の「新年会」が中華料理店 大龍で会員71名が出席し、盛大に開催されました。互助会会長挨拶、大澤理事長の祝辞、乾杯の後ビンゴゲームに移りました。購入した景品は会員の岩田荘司さんが心を込めて作られた40個近い木工のお盆・茶筒・小物入れなどです。中には1個2万円はするといわれる大きめのお盆が特別賞として3個が入っているということで千葉互助会副会長が読み上げるカード番号に耳を澄まし「あった、無い、惜しい1番違い、ビンゴ」等と声を張り上げ大いに盛り上がりました。ビンゴの後にはストレッチ同好会の軽快なダンス、小笠原さんの舞踊、カラオケと続き拍手と笑いに包まれました。ゲームあり、歌あり、踊りありの楽しい内容で会員の親睦・懇親が十分深められた新年会となりました。



事務局だより

第2回安全委員会 H24. 1. 24



第2回発注者訪問を実施

シルバー人材センターと発注者との相互理解と信頼を深め更に良好な関係を構築し、事業実績の向上に結びついていければとの願いから、2回目の発注者への訪問を実施しました。



会員の質問に答える
秋元弁護士(写真中央)



弁護士による特別講演会

ひだかひまわり基金法律事務所弁護士「秋元忠史」先生による「安心の老後のために」(後見制度、相続・遺言、借金問題等)との内容で1月24日(火)シルバー人材センター研修室で特別講演会が開かれました。参加した会員はメモを取りながら熱心に聞いていました。

又、終了後は個別無料相談会も別室で行われました。

12月末会員状況

性別	項目	前月末会員数	当月入会者数	当月退会者数	当月末会員数
男		131	1	4	128
女		81	1	0	82
計		212	2	4	210

12月末事業実績

		受注件数	就業延人数	契約金額			
				会員の報酬	材料費等	事務費	計
公共事業	当月	1	114	247,670	2,100	101,352	351,122
	累計	68	1,800	5,040,475	403,030	1,157,174	6,600,679
民間事業	当月	24	1,255	4,128,374	73,537	430,685	4,632,596
	累計	359	11,943	45,731,029	1,619,448	4,905,867	52,256,344
一般家庭	当月	31	106	166,582	5,250	18,611	190,443
	累計	634	1,962	6,034,215	1,341,359	592,838	7,968,412
計	当月	56	1,475	4,542,626	80,887	550,648	5,174,161
	累計	1,061	15,705	56,805,719	3,363,837	6,655,879	66,825,435

あとがき

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、それぞれ輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。シルバーの事務所は、1月6日(金)から仕事を始めており、私たち広報部員もこの広報誌編集作業を初仕事として活動を開始致しました。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

1月3日付け北海道新聞記事に昨年の道内の交通事故による死者数が200人を下回ったという記事が掲載されていました。これは、昭和24年(157人)以来62年ぶり、今年の死者数190人は全国ワースト第6位にあたり、4年連続の減少で過去最悪だった昭和46年(889人)の2割まで減ったということです。私事で恐縮ですが平成元年に母を交通事故で亡くしており、脳がグチャグチャになり人工呼吸器をつけてベッドに横たわっている母の姿が今でも脳裏から離れません。その直前まで元気だった人が何の前触れも無く突然死にいたる悲惨な交通事故死がもっともっと少なくなることを心から願わざるを得ません。

さて、本シルバー人材センターも、4月頃迄には「公益法人」に移行するという大きな転換期を迎えます。私たちもシルバーの理念を再確認し、広報誌の作成に携わってきたいものと思っております。(広報部会員一同)